

# 企業としてデータ活用を醸成させるための第一歩 データ活用教育サービス

CATALOG

## データ活用はビジネスへ価値を提供し続けることが重要

昨今は、データ活用の重要性の理解が浸透し、どの企業もデータを上手に活用しビジネス価値につなげようとしています。しかし、自社のデータ活用度を考えるとどうでしょうか。もし、遅れていると、競業他社との差別化が図れず、気が付いた時には、差をつけられ業績の悪化につながってしまうこともあります。データをビジネスの中で有効活用して業績を伸ばしている企業は、様々な施策を戦略的に打ち、**データ活用文化を醸成**しています。

## 上手く推進し根付かせるためには「教育」と「意識改革」が必要である

データ活用が上手く進捗していない企業からは、データ活用推進担当者が重要性を理解していても明確な推進方針を示せず、経営やユーザ部門から上手く協力が得られないという話が聞かれます。そのため、BIツールなどのデータ活用関連のシステムを導入してもユーザの理解がなく、使用されなくなってしまったという話もよく聞かれます。

では実際どうしたら良いのでしょうか。実は、データからビジネスへ価値を提供するためには、**データ活用の仕組み**（データ、プロセス、運用、体制、システム、ナレッジ）が重要となります。その理解と周知が、データ活用を推進させ、データ活用する企業を作る第一歩となります。

## ご支援プラン

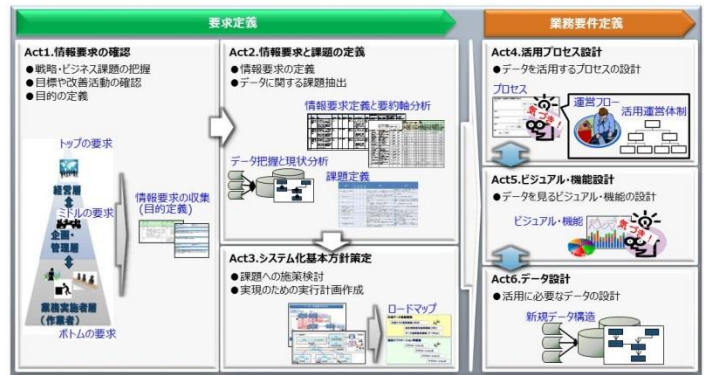
データ活用を成功に導けば企業のコアコンピタンスとなりますが、自社の状態を理解せず他社のデータ活用事例をマネをしても成功したと言える状態にはなりません。成功に導くためには、協力を仰がなければならない関係者にデータ活用とは何か理解していただき、自社ならではの重要性和価値を共有していく必要があります。

そこで弊社の経験豊富なコンサルタントが教育セミナーを実施し、そのコンサルタントがファシリテートする中で自社の状態を自ら評価しディスカッションをしていただきます。

参加者ご自身が、データ活用の重要性や、進め方（どのような順序で何をすべきか）について答えを出せるよう導きます。

（ご参考プラン）

### 教育セミナー概要



※点線で記述している部分は、次の展開で実施していく施策の例です。自社のレベルに合わせて実施が出来るように導きます。

●上記以外でも様々なスタイルでご支援させていただいております。詳細は別途ご相談ください。

### 株式会社データ総研

代表取締役社長 堀越 雅朗

1985年創立。データ設計と標準化を専門分野とするITコンサルティングファーム。

データ中心アプローチ(DOA)における先駆的企業であり、PLAN-DB®、PLAN-APL®など独自開発の設計技法や開発方法論をベースにコンサルティング事業を展開。データマネジメントの世界的教育・研究機関であるDAMA国際ナショナルから、データマネジメント知識体系(DMBOK)教育機関として認定を受けている。

上場企業を中心に多数のリーディングカンパニーへの支援実績を有する。

東京都中央区日本橋小伝馬町4-11サンコービル TEL:03-5695-1651 FAX:03-5695-1656 <http://www.drinet.co.jp>